

# 速報

平成29年4月11日、大阪城はフランスのブルターニュ大公城と友好城郭提携を結びました。



大阪市では平成29年4月11日(火)、大阪城とフランス共和国ペイ・ド・ラ・ロワール地域圏の首府であり、ロワール=アトランティック県の県庁所在地であるナント市の「ブルターニュ大公城」との友好城郭提携を締結し、大阪城西の丸庭園の大阪迎賓館において調印式ならびに記念レセプションを行いました。

海外の城郭との友好城郭提携の締結は、オーストリア共和国グラーツ市のエッゲンベルグ城(平成21年締結)に次いで2例目となります。



西の丸庭園の大阪迎賓館にて調印式にのぞむ吉村洋文大阪市長(右)と、アンドレ・ソブザック ナント・メトロポール国際交流担当議員(左)。中央は立会人をつとめていただいたジャン・マチュー・ボネル在京都フランス総領事です。

# ブルターニュ大公城とは

1466年にブルターニュ大公フランソワ2世によって築かれ、フランソワ2世の娘でフランス王シャルル8世、ルイ12世の王妃となったアンヌ・ド・ブルターニュが完成させた城郭で、16世紀初頭のフランスでは最も強固な要塞のひとつです。

代々ブルターニュ公国の君主であったブルターニュ大公の居城でしたが、1532年にブルターニュ公国がフランス王国に併合されてからは、ブルターニュ地方におけるフランス王の居城となりました。

フランス王アンリ4世が、プロテスタントにカトリック教徒と同等の権利を認めた「ナントの勅令」を発布した城として世界史的にも著名です。

ロワール川の河口に位置し、現在、内部はナント歴史博物館として活用されています。





ナント市の位置

ブルターニュ大公城



ブルターニュ大公城



# 友好を深める大阪城とブルターニュ大公城



ブルターニュ大公城(ナント歴史博物館)では2014(平成26)年6月から11月にかけて、大阪城天守閣の特別協力により、「サムライ展～1000年の日本の歴史」が開催されました。この展覧会は同城で開催された展覧会としては過去最多の入場者数を記録し、フランス文化省によって「エクポジション ダンテレ ナシオル」(国益に貢献する展覧会)に選ばれるなど高い評価を得ました。

# 大阪城は日仏外交史の重要な舞台



慶応3年(1867)、大坂城では徳川幕府の最後の将軍徳川慶喜と、フランス公使レオン・ロッシュとの公式会見が本丸御殿において行われました。今年はその歴史的なできごとからちょうど150年にあたります。

慶応3年(1867)、フランスのナポレオン3世から贈られた軍服を着用し馬にまたがる徳川慶喜。馬もフランスから贈られたもの(大坂城内にて撮影、『徳川慶喜公伝』より)。



今回の調印式レセプションでは、150年前の会見時に出されたフランス料理が再現されました。





記念レセプションでは徳川慶喜とレオン・ロッシュが会見した折のフランス料理が一部再現され、また柳生新陰流22代宗家柳生耕一師範ならびに一門による剣術の演武、茶道家・竹谷元希さんによる茶の湯、新作の祝典歌劇「出会いの宴(うたげ)～150年の時を越えて～」が披露されました。



# これからも両城の友好発展にご期待ください



本年10月には大阪市の後援事業として、ナント市において公益財団法人山本能楽堂(大阪市)による能の公演も予定されています。これからも大阪市とナント市、大阪城とブルターニュ大公城の友好発展にどうぞご期待ください。